

公益社団法人 全国病院理学療法協会

広 報

平成30年7月21日 第232号

目 次

平成30年度 地方会代表者会議(要旨)	1
第59回 定時代議員総会 議事録(抄)	3
平成30年度 臨時理事会 議事録(抄)	6
平成30年度 第1回理事会 議事録(抄)	7
正味財産増減計算書	11
貸借対照表	13
監査報告書	14
平成30年度 役員職務分掌及び情報収集等に係る役割分担表 ..	15
平成30年度 公益社団法人 全国病院理学療法協会 組織機構 ..	17
平成30年度 地方会執行委員長・支部長名簿	18
平成30年度 協会主要会議及び地方学会等の計画表	19
諸会議及び役員渉外行動報告	20
本部発信文書一覧	21
三宅健一郎先生 藍綬褒章受章の榮譽に輝く	22
協会創立70周年・法人認可55周年記念式典	23
厚生労働大臣表彰 受賞者名簿	28
協会表彰状	29
協会表彰 受賞者名簿	30
第68回 日本理学療法学会 開催案内	33
平成30年度 地方学会 開催案内	35
平成30年度 認定訪問マッサージ師講習会開催の案内	36

平成30年度 地方会代表者会議（要旨）

日時 平成30年5月25日(金)9:30～10:40

場所 ウェスタ川越 多目的ホール(川越市)

出席者

理事 平野 五十男・柳澤 貞男
三宅 健一郎・小川 嗣人
佐藤 功・小田 木宏江
丹羽 つとむ・可知 謙三
米谷 勝行・津田 敏彦

監事 菊田 京一・大塚 正廣
中川 保

相談役 倉石 健二・猪野塚 孝徳

地方会執行委員長

大野 敏彦（北海道）
菊池 武彦（東北）
杉浦 幹雄（関東甲信越）
蟹谷 泰郎（北陸）
加藤 尚浩（中部）
町井 修治（近畿）
川口 清宣（中国）
石川 啓一（四国）
西口 政男（九州）
事務局 青柳 利之・杉浦 幹雄
欠席者 木村 重人（理事）
大場 栄悦（相談役）

司会 柳澤事務局長

本日は地方会の現状について、事情も含めて報告いただきたい。

1. 各地方会の現状及び要望・意見等

(1)北海道地方会（大野）

- 1) 地方会全域を対象に研修会を開催しているが、会場までの移動が5～6時間かかる会員もいるため、宿泊をするなど、経費面での負担が大きくなっている。
- 2) 会員を増やすことが課題になっており、他団体に本協会（地方会）の活動をアピールし、知名度の向上に努めている。
- 3) 柔整師は、資格取得後3年間は開業ができないため、その間に技能講習会の受講をおすすめし、理学療法分

野の技能を更に修得していただいてはどうか。

(2)東北地方会（菊池）

- 1) 北海道同様エリアが広いと、全体で集まることが経費面で難しくなっており、年2回の会議の際、1回の交通費の片道分は、自費を強いているのが現状である。
- 2) 一昨年、岩手県支部と秋田県支部は統合しているが、宮城県支部でも会員が1桁となっている。
- 3) 役員世代交代の一案として、初めから役員としての役割を担うのではなく、講習会の手伝いや資料の準備など、負担の少ない役目をお願いし、徐々に役割を多くする方法を試みてはどうか。

(3)関東甲信越地方会（杉浦）

- 1) 地方会全体で550名の会員がいるため、現在は支部単位で活動できている。今年度も技能講習会（7月14日開講）を予定しており、他地方会からの受講者がいればご紹介願いたい。また、数年に一度の地方会学会も行っている。
- 2) 機能訓練指導員8職種が、共通した活動や要望運動を行う場がないため、今後はその方向にウイングを広げて行ってはどうか。

(4)北陸地方会（蟹谷）

- 1) 会員は年々減少しており、年間の研修会は、支部単位で2回、地方会全体で1回行っているが、この運営も経費面で難しくなりつつある。

(5)中部地方会（加藤）

- 1) 会員数の減少に苦慮しており、技能講習会を企画しても受講者が集まらない状況。また、役員の高齢化も進み、世代交代が課題になっている。
- 2) 会員アンケートの回収率50%以下では、厚労省への要望で評価が得られにくいと、回収率アップを考えな

ければならない。

- 3) 役員については、若い会員の掘り起こしが大切なことは理解しているが、具体的な方法が見つからない。根気強く声掛けしたいと思う。

(6)近畿地方会（町井）

- 1) 会員数が300名を切り、減少に歯止めがかからない。また、柔整師が全体の三分の一を占めるようになり、協会の事業において、柔整師に視点を置いた活動方針も考えていただきたい。
- 2) 前回の定款変更後、研修会は、指導者講習会の伝達講習を含め、地方会全体で年5回開催するようになった結果、1回に60～80名が参加するようになり、講習会としての事業が整うようになってきた。今後もスケールメリットを考えながら、事業を企画するように行きたい。
- 3) 技能講習会のメリットを強くアピールする広報紙、ホームページの検討、多くの方に見ていただけるよう、方法を工夫する必要があるのではないか。

(7)中国地方会（川口）

- 1) 広島を中心に地方会全体で講習会を行っている。
- 2) 本協会の会員が有する資格、勤務先、年齢等を集積、分析して、各要望に反映させてはどうか。
- 3) 本協会の会員は、以前より診療報酬、介護報酬などの場で資格を生かして働いてきたが、最近では、柔整師の台

頭、訪問マッサージの場で勤務する会員も増えてきているため、新しい全病理の価値観を考えて行く必要があるのではないか。

(8)四国地方会（石川）

- 1) 会員数は現在63名、昨年から5名減った。
- 2) 昨年度は、松山市で中国・四国理学療法学会を開催し、80名参加していただき、成功を修めることができた。
- 3) 会員アンケートから会員のニーズが引き出せるような内容にしてはどうか。

(9)九州地方会（西口）

- 1) 来年度の日本理学療法学会は、長崎県諫早市で開催しますので、多くの会員から演題をお願いしたい。会場は、「歴史とおもむき」がある由緒正しい施設で行いますので、大勢の参加をお待ちしています。

2. 本部答弁（可知）

- 1) 一昨年、会員実態調査（アンケート）を行ったが、回収率が50%を下回った。今後は調査項目の内容、回答、回収方法などを話し、会員の実態をより詳細に把握し、活動や要望に反映して行きたい。

他にも多くの現状報告、課題に対する意見が出たが、紙面の都合で割愛させていただきました。

以上

第 59 回 定時代議員総会 議事録 (抄)

1. 日 時 平成30年5月25日(金)11:00~15:10
2. 場 所 ウェスタ川越 多目的ホール(川越市)
3. 議 長 町井 修治 代議員(近畿地方会 大阪府支部)
書 記 倉石 健二 相談役
青柳 利之 事務局次長
4. 総会成立確認

柳澤事務局長から、定款 18 条により、代議員定数 19 名、出席代議員数 19 名で、第 59 回定時代議員総会の成立を宣言。オブザーバー 9 名の出席が報告された。

柳澤事務局長

今年 2 月 26 日、本協会の 5 代会長を務められた山崎義雄先生が 97 歳の天寿を全うされました。本協会における多大な功績に感謝し、ご冥福をお祈りするため、黙祷を捧げます。

5. 議 題

第 1 号議案 平成 29 年度 事業報告
北海道(大野) 関連(中部)

会員数減少に歯止めがかからないが、本部の対策はどうか。また、あはき、柔整師等の養成校に「理療」を配布し、卒業後の入会を勧誘してはどうか。

平野会長

平成 29 年度に開催した技能講習会(神奈川県支部、近畿地方会)で 70 名が入会した。技能講習会が全国各地で開催されることが理想である。

小川学術局長

「理療」は関連団体には配布しているが、養成校への配布も今後検討する。

近畿(野山)

技能認定登録の更新(4 月分)が大幅に遅れていたが、会員の仕事に直結すること

なので、遅れた理由と今後の対策はどうか。
平野会長

今期の更新申請が約 700 名おり、通常業務に加え、協会創立記念事業等の業務が重なり、事務作業が大幅に遅延した。大変失礼いたしました。

中部(近藤) 関連(北陸)

会員の住所や勤務先変更などの届けを提出しても、受領を確認することができないため、何らかの方法で確認できるようにすべきではないか。

平野会長

会員の登録事項の変更は、届けを確認次第速やかに処理しているが、今後は、本日選任される組織局長を中心に対策を講じる。

中部(日比野) 関連(中国・四国・北海道)

依然として会費の未納者が大勢いるが、しっかり督促しているのか。

平野会長

平成 29 年度分の未納者が、大阪府支部 23 名、京都府支部 13 名、愛知県支部 13 名、鹿児島県支部 12 名、東京都支部 11 名、岐阜県支部 10 名、広島県支部 9 名などで、本部も催促状を送付するなどしているが、支部でも協力していただきたい。

北海道(大野)

鍼灸師が、介護報酬制度における個別機能訓練の職種に追加されたが、本部はどのように評価しているのか。

平野会長

本部では、鍼灸師も診療報酬、介護報酬の算定要員になれるよう以前より要望しているが、今回鍼灸師が機能訓練指導員として認められたのは、介護の現場におけるマンパワーの活用であると受け止めている。

九州(麻生)

本部が厚労省等に行っている要望活動の

詳細を、地方会、支部でも分かるようにすべきではないか。

平野会長

前向きに検討する。

(定数 19 名、全会一致で承認)

第 2 号議案 平成 29 年度 収支決算報告及び監査報告

小田木財務局長

議案書(広報 231 号)とは別資料(平成 29 年度計算書類)を説明

(貸借対照表、正味財産増減計算書 P11 参照)

大塚監事

監査報告(監査報告書 P 14 参照)

近畿(野山) 関連(関東甲信越・四国)

会費未納者対策として、他団体では、当該年度の 6 月末まで会費が納入されない場合、退会扱いとし、刊行物なども発送しないところもあるが、本協会も参考にすべきではないか。

小田木財務局長

本協会では、2 年間会費が未納の場合、会員の資格を停止すると定款で定めているが、決して納入しなくても良いということではない。盛況な他団体のシステムを本協会に充てた場合、更に退会を誘発する可能性が考えられる。

北海道(大野)

役員報酬の詳細を説明してください。

小田木財務局長

代表理事、年間 120 万円、事務職員も年間 120 万円で、他の役員には、必要経費を実費支給している。

関東甲信越(等々力)

会計業務を委託している税理士法人の対価を説明してください。また、他事業所との経費の比較を行っているのか。

小田木財務局長

一年に約 80 時間、地方会及び支部の財務ファイルのチェック、不備の確認、内

閣府に提出する帳票作成の一切を委託している。

会計の業務委託を行い今年で 8 年目になるが、経費は、他事業所と比べ安価だと思う。

九州(麻生)

決算で出た残高を本部に返納した場合、次年度の交付金に返納した額を上乗せしていただけるのか。

小田木財務局長

上乗せすることはできない。

(定数 19 名、賛成 16 名で承認)

第 3 号議案 役員定数の変更、常任理事会廃止に係る定款変更

平野会長

議案書の訂正 広報 231 号 P 7 の第 6 章 第 29 条 3、末文(全文削除)

四国(石川)

常任理事会を廃止すると、経費はどのくらい削減されるのか。

平野会長

常任理事会 3 回分と役員 2 名削減で、概算で 40 万円と思われる。

(定数 19 名、全会一致で承認)

第 4 号議案 会費値上げに係る定款細則の変更

平野会長

会費を 2 千円値上げした場合、半額は地方会、支部交付金として充当する予定である。

北陸(梅本)

会費値上げに基本的には賛成するが、会員離れが予測されるため、伝達講習会の受講料を減額するなど、会員の負担を軽減することはできないか。

平野会長

伝達講習会の受講料は、規程で 2 千円と決まっているため、ここで変更することはできない。

関東甲信越（井上）

地方会への50%交付は確約できるのか。また、役員削減策など更なる構想はあるのか。更に、広報の紙面を簡素化し、詳細をホームページに掲載することや、全国学会の関連会議を金曜の午後に開催し、役員宿泊を2泊及び、代議員の宿泊を一泊に改め、経費の節減はできないか。

平野会長

地方会への50%交付は約束する。更なる節減案として、地方会学会を年間2地方会にするなどを考えているが、経費に余裕のある地方会は、協力していただきたい。また、広報と学会関連会議のことは、前向きに検討する。

関東甲信越（大河原）

会友会費は、千円の値上げで良いのか。

平野会長

そのとおり。

九州（竹之内）

会員の退会が多く出る可能性があるため、会費値上げに反対する。

中国（坂原）

会費値上げに反対する。課題講習会の受講料引き上げで対処できないのか。

四国（石川）

会費を2千円上げ、千円は地方会に充当すると話しているが、地方会の経費面での実態はどうなのか。

小田木財務部長

複数の地方会では、会議開催に要する交通費を片道しか支給できなかったり、食事補助も出さないところもあると聞いている。

町井議長

予算執行について、各地方会の実態をお聞かせください。

四国（石川）

現在困っていないため、会費値上げには反対

東北（菊池） 北海道（大野）

地方会会議の交通費を半額しか支給できていないため、会費値上げは賛成
近畿（野山）

定款に基づき、講習会を地方会で企画しているが、経費面では切迫しているため、会費を値上げしたうえで、交付金千円の増額は必要である。

九州（麻生）

会費2千円の値上げ根拠不明、将来のビジョン不明、診療報酬等の要望に成果がないことなどから、値上げは反対

平野会長

公益法人を保つため、経理を健全化する目的での会費値上げ案です。会費の値上げは今しかできないと考えている。

（定数19名、賛成15名で承認）

第5号議案 表彰に関する承認

柳澤事務局長より推薦報告

第66回 日本理学療法学会

学 会 長 丹羽 つとむ

準備委員長 町井 修治

特別感謝状 園田 和之(福岡県支部)

坂本 文夫(神奈川県支部)

（定数19名、全会一致で承認）

第6号議案 第68回 日本理学療法学会

学会長・準備委員長の承認

学 会 長 西口 政男

準備委員長 石本 必勝

（定数19名、全会一致で承認）

第7号議案 第69回 日本理学療法学会

開催地の決定

中部地方会 愛知県名古屋市で開催

（定数19名、全会一致で承認）

第8号議案 役員改選

大村役員改選管理委員長より投票について

て説明が有り、代議員総会の休憩時に理事及び監事の改選が行われ、引き続き米谷理事、菊田監事の立会いのもと、厳正に開票を行い、大村委員長より信任の結果が報告された。

投票結果

理事（投票総数 19 票 有効投票数 19 票）

小路口 憲・三宅 健一郎・野山 隆司
丹羽 つとむ・青柳 利之・可知 謙三
小川 嗣人・平野 五十男・津田 敏彦
三浦 政則・多田 浩幸

監事（投票総数 19 票 有効投票数 19 票）

中川 保・大塚 正廣・大内田 義己
開票報告後、臨時理事会が開催された。

（詳細は臨時理事会議事録参照）

その他

第 41 回 理学療法指導者講習会の案内

日 時 平成30年10月28日(日)9:00 ~ 16:30
場 所 広島大学病院
講 師 広島大学病院診療支援部リハビリ
テーション部門

折田 直哉 先生（理学療法士）

廣田 智弘 先生（理学療法士）

高尾 恒嗣 先生（理学療法士）

タイトル 運動器疾患における疼痛の評価と
徒手治療（仮題）

受講者数 40 名（予定）

申し込み締め切り

平成 30 年 8 月 31 日（厳守）

議長解任

他、代議員から多くの質問や意見が出されましたが、広報紙面の都合により、審議の過程を妨げない範囲で割愛させていただきました。

以上

平成 30 年度 臨時理事会 議事録（抄）

日 時 平成30年5月25日(金) 14:45~14:55

場 所 ウェスタ川越 第3会議室

出席者 理 事 平野 五十男・小川 嗣人
青柳 利之・丹羽 つとむ
小路口 憲・三宅 健一郎
可知 謙三・津田 敏彦
三浦 政則・野山 隆司
多田 浩幸

監 事 大塚 正廣・中川 保
大内田 義己

大塚正廣（監事）が仮議長となり、定款第34条に規定する定足数に達したことを確認した後、開会を宣言し議事に入った。

議 題

1. 代表理事選任の件

代議員総会における役員選挙の結果を参

考に平野理事が推薦され、理事全員の賛成で、平野を代表理事に選任した。

平野理事は、その場で代表理事就任を承諾した。

2. 業務執行理事選任の件

平野代表理事が議長となり、定款に従い、小川理事、青柳理事、丹羽理事、小路口理事の4名を、理事全員の賛成で業務執行理事に選任した。被選任者は、その場で業務執行理事への就任を承諾した。このうち小川理事、青柳理事を副会長に選任した。

3. 相談役選任の件

平野代表理事の推薦を参考に審議し、倉石、柳澤の両人を理事全員の賛成で相談役に選任した。

以上

平成 30 年度 第 1 回理事会 議事録 (抄)

日 時 平成30年6月17日(日)10:30～15:30

場 所 協会事務所

出席者

理 事 平野 五十男(会長)
青柳 利之(副会長・事務局長・保険局長)
小川 嗣人(副会長・学術局長・理療出版部長)
丹羽 つとむ(組織局長)
小路口 憲(広報局長)
三浦 政則(財務局長)
三宅 健一郎(学術局次長・理療出版副部長)
津田 敏彦(学術局次長・教育研究部長)
可知 謙三(組織局次長)
野山 隆司(財務局次長)
多田 浩幸(特殊出版部長)

監 事 大塚 正廣・中川 保
大内田 義己

相談役 柳澤 貞男・倉石 健二
公益法人推進部長 杉浦 幹雄

開会に先立ち青柳事務局長より、出席者数及び理事会成立の確認(定款34条定足数)が報告され、併せて報告事項は青柳事務局長が、検討事項は平野会長が議長を務めること、並びに書記・録音は小路口広報局長が担当することが告げられた。

会長挨拶

平成30年度第1回理事会では新役員のもと、本年度の事業活動について各部局の重点課題についてどの様に進めていくのか審議を行っていただきたい。

(報告事項)

1. 役員改選に係る役職分掌、及び委嘱条の授与

平野会長

各理事へ担当職務が命じられ委嘱状が手渡された。(役員職務分掌 P15 参照)

2. 役員渉外行動報告

平野会長

(諸会議及び役員渉外行動報告 P20 参照)

3. 協会創立70周年・法人認可55周年記念事業に係る報告

川越市において開催された協会創立70周年・法人認可55周年記念事業は衛藤晟一参議院議員をはじめ多くの参加者により滞りなく終了することができた。

柳澤表彰選考委員長

4. 平成30年度 診療報酬・介護報酬改定報告

診療報酬・介護報酬改定の報告事項については、広報231号(P18,19)に掲載されていますのでご参照願います。内容についての審議は保険局の議題で行うこととする。

青柳保険局長

5. 平成30年度 運動療法機能訓練技能講習会の進捗状況

現在の受講希望者は神奈川県支部19名、近畿地方会5名、中部地方会6名の受講申込みに留まっている。神奈川県支部においては開催する方向であるが、他は今後の参加希望者の動向によって決まるが協会の重要事業でもあり、開催に向け取り組んでいただきたい。

小川学術局長

6. 第67回 日本理学療法学会の終了報告

学会及び市民公開講座の参加者数は会員が250数名程、一般の参加者が50数名程と報告を受けている。収支についても予算内で開催を終えることができた。詳細については次号の広報にて報告する。

三浦学会長

7. 第68回 日本理学療法学会開催の進捗状況

長崎県諫早市において来年5月24日（金）より26日（日）までの3日間開催する。会員からの演題発表が予定数集まるか心配している。

（開催内容の詳細はP33参照）

会員発表数の減少に対して、他の理事より演題募集には学会担当支部からの地方会、支部への働きかけが大事であり、本部事務局の支援も必要ではないかと意見が出された。

多田理事

8. その他

第41回理学療法指導者講習会は平成30年10月28日（日）広島市広島大学病院にて開催します。内容は「運動器疾患における疼痛の評価と徒手治療」を検討している。募集要項については6月下旬までに各支部へ送付する。

小川学術局長

以上、報告事項は全会一致で承認された。

（検討事項）

1. 議題審議に入り平野会長が議長を務める。

平成30年度の事業を行う上での各部局の重点課題について審議を行う。

1) 保険局

(1)診療報酬・介護報酬に係る要望活動について

青柳 診療報酬改定では疾患別リハビリテーション料、消炎鎮痛処置料について従来とおりに変更は無い。地域包括ケアなどでのリハ料算定は病棟入院料に包括扱いとなっている。（広報第231号P18参照）

介護報酬改定では通所リハビリテーション費（1時間以上2時間未満）、通所介護費（個別機能訓練加算Ⅰ・Ⅱ）について従来とおりに変更は無い。

通所介護費（ADL維持等加算Ⅰ・Ⅱ）

の新設では複数の要件を満たした通所介護事業所に限定されている。また、通所介護等における機能訓練指導員に一定の実務経験を有するはり師・きゅう師が新たに追加となった。

今回新設の生活機能連携加算については見送りとなった。（広報第231号P19参照）

(2)エビデンスの集計について

青柳 技能認定登録者が現在行っている業務について各支部2～3名にエビデンス研究を依頼し、診療報酬の要望活動に活用できるよう取りまとめたい。

三宅 エビデンスの出し方の検討が大事であり、統計的な研究などが必要だ。

杉浦 エビデンス研究の取り組み方について詳細を示してほしい。

野山 エビデンス研究を成功させるためには、厚労省が求める内容を把握し準備を行ってから取り組むべきだ。

平野 厚労省が求めている内容は、技能認定登録者が行うリハビリの治療効果を示せるかである。中医協などに示せる内容がなければ要望活動はできない。

可知 疾患別リハにおける評価ではエビデンスの提出が重要であり、そのためにも事前折衝が大事である。

青柳 技能認定登録者が現在行っている業務を要求材料にしたい。

三浦 今回のエビデンス研究に係る経費はどの程度を考えているのか示して欲しい。

津田 委員会などを立ち上げ研究に取り組むべきです。

丹羽 厚労省への要望活動ではエビデンスの提出は常に求められている。

青柳 エビデンス研究の取り組み方は会員が実際に行っていることをまとめ提出してもらいたい。6月末までに詳細をまとめ各地方会、支部へ依頼文を送付し協力をお願いする。調査にかかる時間は1年間しか残ってない。

可知 丹羽 消炎鎮痛処置料については、医療技術検討小委員会への提出となる。来年1月の提出期限に間に合うよう取り組んでいただきたい。

青柳 今年度、タイムスケジュールを立て会員から提出されたエビデンスと理療に投稿されている研究などを持参して要望活動に望む。

2) 組織局

(1) 会員管理について

平野 会員からの届出書類の受理の確認については、どのような方法で支部・地方会へ返信すると良いか。

丹羽 受理の確認はメールまたはハガキで届出の支部・地方会へ返信します。

(2) 入会届・退会届・会員登録事項変更届の提出について

平野 会員からの提出書類が本部へ直送してくるケースが散見されます。本部への提出書類は支部長、地方会執行委員長へ提出することを再度徹底していただきたい。

3) 財務局

(1) 会費未納者対策について

三浦 会費未納者に対しては、定款に沿った対応を考えている。

(2) 葵税理士法人との財務処理について

平野 財務処理費用が400万円近くかかる状況である。財務処理にかかる経費を削減できないか。

三浦 四半期ごとの財務処理を協会内で行う事で、葵税理士事務所への支払い経費を削減していきたい。

杉浦 東京周辺の会員で財務対策委員会を立ち上げ記帳代行などを行い、財務処理の委託費を削減することを検討したい。

平野 会計管理クラウドを含め、財務処理経費の削減に取り組んでもらいたい。

4) 学術局

(1) 学会開催地の検討

平野 全国学会並びに地方学会の開催地について計画的に開催地を決め取り組んでいきたい。すべての地方会で全国学会が開催できる状況が望ましい。

小川 全国学会、指導者講習会、技能講習会は協会の基本活動で有り、経費など諸課題はあるが開催は継続して行く。

(2) 地方学会開催地の調整について

平野 開催地は年間2か所を基本に計画的に調整する。

(3) 技能講習会の継続実施と開催地の確保について

杉浦 技能講習会の受講申込者が定員に満たない場合、予算処置を本部にお願いしたい。

小川 財務局と検討するが予算的には厳しい状況である。

可知 会員の勤務先では疾患別リハ算定の関係で、技能認定登録の更新を把握できていない状況も散見されている。技能認定登録更新者には技能認定登録の更新を行った際は、自身の勤務先へ更新の有無を届け出ることを周知すべきである。

平野 協会ホームページなどで周知する。

5) 広報局

(1) 発行予定日の確認

平野 広報は年3回、7月・12月・3月の発行予定である。

(2) 広報掲載内容の再検討

平野 デイジー版製作者から広報の文字数が近年増えており、制作費の増額を迫られている。今後は広報掲載内容を検討し、以前のページ数文字数に削減する方向で考えてほしい。

小路口 代議員会の中でも広報内容を簡略化し経費節減の意見も出ていたが、会員の中には広報内容の充実を求める意見

もある。

青柳 広報に掲載すべき情報と協会ホームページへ掲載すべき情報を整理していきたい。

小路口 協会広報と協会ホームページについて掲載情報の整理・点検を行い会員並びに外部への情報提供の在り方を検討して行く。

柳澤 広報の文字数を制限し、その代わりに全文をホームページへ掲載してはどうか。

倉石 広報は文字数ページ数を減らし、デジタル版は継続し会員へ発信すべき。

6) 理療編集

(1)学会特集号の原稿収集について

平野 演題発表者からの理療掲載が減っている。発表者へ原稿提出を促していただきたい。

(2)広告掲載業者の募集について

小川 広告掲載業者からは掲載の承諾を得ている。次の発行に掲載される。

(3)寄贈先の再検討と発送文書の同封の実施

小川 協会を知っていただくためにも寄贈先を増やすことは大事であるが費用との兼ね合いを考え検討したい。

2. マッサージ師・柔道整復師養成校の就職状況調査について

平野 あはき師・柔道整復師養成校 210 校へ就職先の状況調査を送っている。回収後、調査データを集計しあはき師・柔道整復師の医療におけるマンパワーとして供給されている現状を明らかにし厚生労働省への要望活動などの資料としたい。

3. 会友・休会者の承認

平野 平成 30 年度会友 2 名、休会者 3 名の届出について全会一致で承認される。

4. 理事からの提言要望について

可知 技能認定登録をしているマッサージ師、柔道整復師の職域を守るためにも、医療技術検討小委員会へ医療技術提案書を提出し、マッサージなど消炎鎮痛処置療法の再評価を求めて行くことが重要だ。保険局の活動として提出していただきたい。

青柳 エビデンス研究の取りまとめが最初にあり、取りまとめたものを持って厚生労働省の医療課へ提出する。そこから要望活動が始まる。医療課で指導を受け提案書の提出の有無を確認する。

可知 医療課で提出の必要性の確認を取って進めていただきたい。

平野 保険局でそのように進めて行く。

5. その他

代議員総会など関連会議の開催時間並びに日程について、代議員より会議を縮小する経費節減の意見が出されたが、検討した結果、一部に賛同する意見もあったが、当面は現状を維持し今後検討課題とする。理事会としては地方会代表者会議を活性化し充実させる必要性を認識した。

理事から多くの質問や意見が出されましたが、広報紙面の都合により、審議の過程を妨げない範囲で割愛させていただきました。

以上

正味財産増減計算書

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

公益社団法人 全国病院理学療法協会

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経 常 収 益			
① 特定資産運用益	2,967	8,732	△ 5,765
② 受取入金	219,000	141,000	78,000
③ 受 取 会 費 正会員受取会費	30,530,000	30,230,000	300,000
④ 事 業 収 益			
学会事業収益	3,775,000	2,475,000	1,300,000
講習会事業収益	11,626,616	9,515,850	2,110,766
技能認定登録事業収益	3,155,000	964,000	2,191,000
⑤ 受 取 補 助 金	0	151,000	△ 151,000
⑥ 受 取 寄 付 金	123,290	44,540	78,750
⑦ 雑収益			
広告料収益	254,367	170,000	84,367
雑 収 益	22,287	1,085,202	△ 1,062,915
経常収益計	49,708,527	44,785,324	4,923,203
(2) 経 常 費 用			
① 事 業 費			
役員報酬	900,000	900,000	0
給料手当	905,168	901,371	3,797
福利厚生費	0	0	0
旅費交通費	9,921,425	9,646,115	275,310
通信運搬費	2,438,128	2,259,201	178,927
減価償却費	225,815	236,345	△ 10,530
消耗品費	1,855,357	2,239,042	△ 383,685
修繕費	0	0	0
印刷製本費	6,276,246	7,525,295	△ 1,249,049
光熱水料費	114,544	111,656	2,888
賃借料	3,698,766	1,722,519	1,976,247
保険料	0	0	0
諸謝金	7,719,207	6,220,934	1,498,273
租税公課	68,813	66,900	1,913
支払負担金	0	0	0
雑 費	668,713	1,734,577	△ 1,065,864
事業費計	34,792,182	33,563,955	1,228,227

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
②管 理 費			
役 員 報 酬	300,000	300,000	0
給 料 手 当	301,722	300,457	1,265
福 利 厚 生 費	0	0	0
会 議 費	540,984	770,986	△ 230,002
旅 費 交 通 費	3,307,141	3,215,371	91,770
通 信 運 搬 費	812,709	754,361	58,348
消 耗 品 費	618,452	746,347	△ 127,895
修 繕 費	256,630	309,059	△ 52,429
印 刷 製 本 費	2,253,345	2,544,541	△ 291,196
光 熱 水 料 費	38,181	37,219	962
賃 借 料	828,564	1,178,966	△ 350,402
保 険 料	0	60,560	△ 60,560
諸 謝 金	0	167,338	△ 167,338
租 税 公 課	22,937	22,300	637
支 払 負 担 金	0	0	0
雑 減 価 償 却 費	5,850,417	5,065,088	785,329
	75,272	78,781	△ 3,509
管理費計	15,206,354	15,551,374	△ 345,020
経常費用計	49,998,536	49,115,329	883,207
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 290,009	△ 4,330,005	4,039,996
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 290,009	△ 4,330,005	4,039,996
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用 前期損益修正損	0		0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 290,009	△ 4,330,005	4,039,996
一般正味財産期首残高	63,699,817	68,029,822	△ 4,330,005
一般正味財産期末残高	63,409,808	63,699,817	△ 290,009
II 指定正味財産増減の部			
1 増加の部			
受 取 利 息	327	587	△ 260
2 減少の部			
一般正味財産への振替額	114,290	0	114,290
当期指定正味財産増減額	-113,963	587	-114,550
指定正味財産期首残高	2,344,331	2,343,744	587
指定正味財産期末残高	2,230,368	2,344,331	△ 113,963
III 正味財産期末残高	65,640,176	66,044,148	△ 403,972

貸借対照表

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

公益社団法人 全国病院理学療法協会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現金預金	5,333,584	4,146,187	1,187,397
未収会費	2,720,000	3,911,000	△ 1,191,000
前払全国学会事業費	300,069	0	300,069
前払地方学会事業費	0	0	0
前払管理費	0	0	0
前渡金	0	0	0
流動資産合計	8,353,653	8,057,187	296,466
2 固 定 資 産			
(1) 特定資産			
高木賞等基金	2,230,368	2,344,331	△ 113,963
記念学会基金	2,440,819	2,502,000	△ 61,181
公益事業基金	37,029,020	37,026,719	2,301
減価償却引当資産	0	0	0
特定資産合計	41,700,207	41,873,050	△ 172,843
(2) 有形固定資産			
建物	5,635,466	5,916,925	△ 281,459
什器備品	27,444	47,072	△ 19,628
土地	11,063,334	11,063,334	0
その他の固定資産合計	16,726,244	17,027,331	△ 301,087
固定資産合計	58,426,451	58,900,381	△ 473,930
資 産 合 計	66,780,104	66,957,568	△ 177,464
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
未払金	929,928	753,420	176,508
前受会費	210,000	160,000	50,000
前受事業収益	0	0	0
流動負債合計	1,139,928	913,420	226,508
2 固 定 負 債			
固定負債合計	0	0	0
負 債 合 計	1,139,928	913,420	226,508
III 正 味 財 産 の 部			
1 指 定 正 味 財 産			
(うち基本財産への充当額)	2,230,368	2,344,331	△ 113,963
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
2 一 般 正 味 財 産			
(うち基本財産への充当額)	2,230,368	2,344,331	△ 113,963
(うち特定資産への充当額)	63,409,808	63,699,817	△ 290,009
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	41,700,207	41,873,050	△ 172,843
負債及び正味財産合計	65,640,176	66,044,148	△ 403,972
負債及び正味財産合計	66,780,104	66,957,568	△ 177,464

監 査 報 告 書

会 長 平 野 五 十 男 殿

平成 30 年 4 月 29 日
公益社団法人 全国病院理学療法協会

監 事 大 塚 正 廣 
監 事 菊 田 京 一 
監 事 中 川 保 

私たち監事は、平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査致しました。その方法及び結果について、次の通り報告致します。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査致しました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討致しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討致しました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

一、事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

平成 30 年度 役員職務分掌及び情報収集等に係る役割分担表

会 長 平野 五十男

厚労省・医師会関係全般・東洋療法研修試験財団（評議員・生涯研修検討委員）・あはき等
法推進協議会・葵税理士法人・ニュー大崎管理組合理事・杉山検校遺徳顕彰会評議員

副会長 青柳 利之 事務局長・保険局長

諸会議の企画及び開催準備・診療報酬、介護報酬に係る情報収集・広報編集委員・協会ホームページの運用管理・エビデンス集計・生涯研修作業部会委員（東洋療法研修試験財団）

副会長 小川 嗣人 学術局長・理療出版部長

日本理学療法学会・理療の企画編集・理学療法指導者講習会・運動療法機能訓練技能講習会
実行委員長・技能認定登録制度委員長・生涯研修教育部会（あはき 7 団体）

常任理事 小路口 憲 広報局長

広報の企画編集 諸会議の書記

常任理事 丹羽 つとむ 組織局長

会員管理・役員名簿の作成・組織拡充対策

理 事 三浦 政則 財務局長

財務処理関連業務・葵税理士法人との財務処理

理 事 三宅 健一郎 学術局次長（理療出版副部長）

理療の編集企画

理 事 津田 敏彦 学術局次長（教育・研究部長）

指導者講習会・研究資料の収集・協会蔵書の管理

理 事 可知 謙三 組織局次長

組織拡充対策・マッサージ師・柔道整復師養成校の就職状況調査のとりまとめ

理 事 野山 隆司 財務局次長

財務処理関連業務（未納者対策を含む）

理 事 多田 浩幸 特殊出版部長

理療・広報のCD、デイジー利用者の管理・障害者団体関連情報全般

事務局 公益社団法人推進部長 杉浦 幹雄

監 事 大塚 正廣 中川 保 大内田 義己

相談役 柳澤 貞男 倉石 健二

名誉会員 四元 登 丸山 福治 龍澤 良忠

委員会

広報編集委員会

平野 五十男 青柳 利之 津田 敏彦

表彰選考委員会 叙勲・褒章、及び記念事業等に係る表彰全般

委員長 柳澤 貞男

委員 平野 五十男 倉石 健二 青柳 利之 小川 嗣人

運動療法機能訓練技能講習会実行委員会

委員長 小川 嗣人

委員 平野 五十男 青柳 利之 三浦 政則 小路口 憲
柳澤 貞男

技能認定登録制度委員会

委員長 小川 嗣人

委員 平野 五十男 青柳 利之 小路口 憲 丹羽 つとむ
柳澤 貞男

財務処理対策委員会

委員長 三浦 政則

委員 野山 隆司 杉浦 幹雄 小川 嗣人 平野 五十男

役員改選管理委員会

委員長 大村 和司

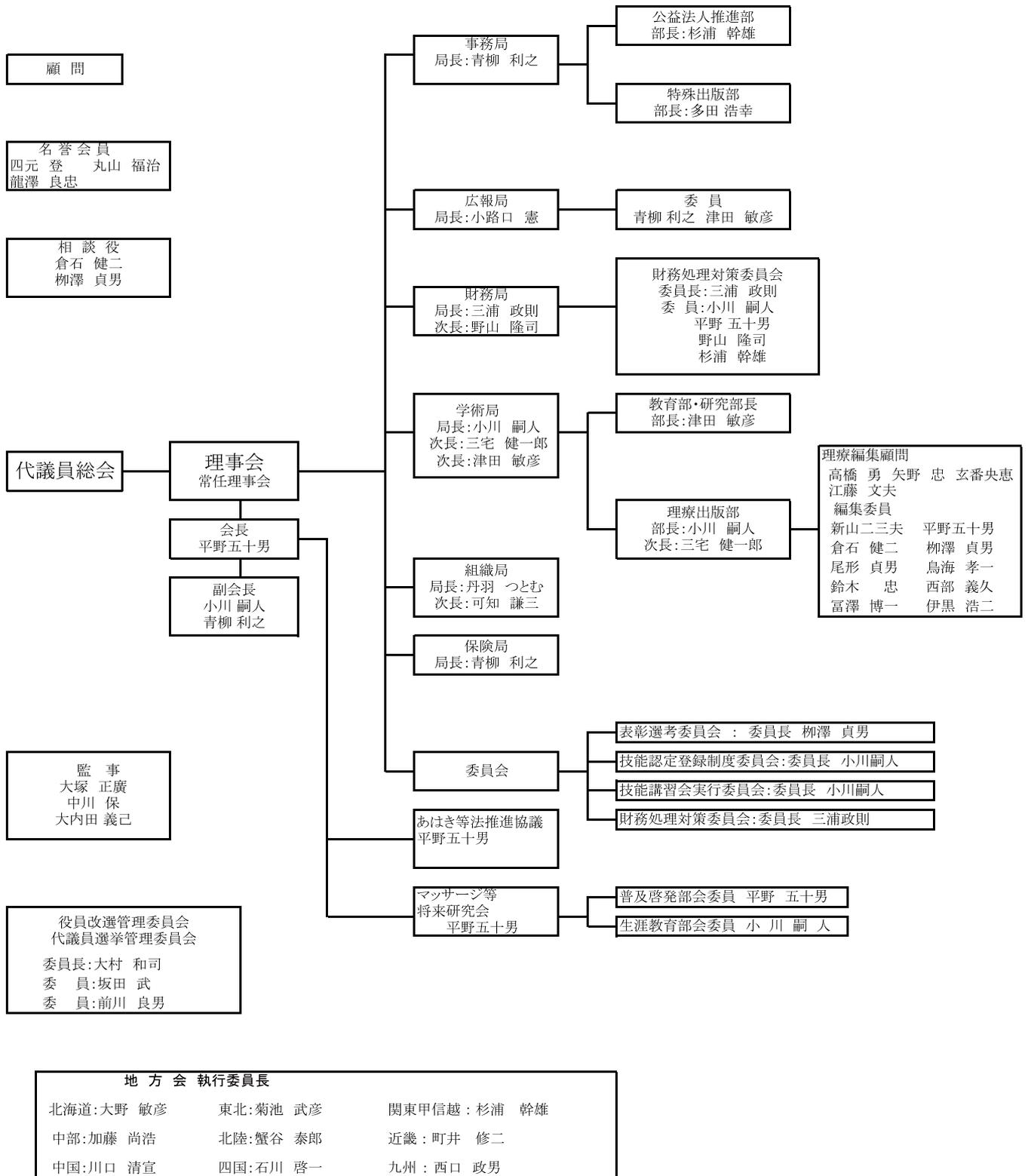
委員 坂田 武 前川 良男

中央代議員選挙管理委員会

委員長 大村 和司

委員 坂田 武 前川 良男

平成 30 年度 公益社団法人 全国病院理学療法協会 組織機構



平成 30 年度 地方会執行委員長・支部長名簿

地方会名	氏名	役職名	郵便番号	住所
北海道	大野 敏彦	地方会執行委員長	062-0911	北海道札幌市豊平区旭町7丁目2番3号
東北	菊池 武彦	地方会執行委員長	021-0902	岩手県一関市萩荘字本町41-4-1
関東甲信越	杉浦 幹雄	地方会執行委員長	179-0081	東京都練馬区北町3-17-11-401
北陸	蟹谷 泰郎	地方会執行委員長	933-0114	富山県高岡市伏木古府2-4-43
中部	加藤 尚浩	地方会執行委員長	472-0015	愛知県知立市谷田町本林2-14-3 ライオンズマンション知立南5番館501
近畿	町井 修治	地方会執行委員長	575-0032	大阪府四條畷市米崎町9-1
中国	川口 清宣	地方会執行委員長	731-0214	広島県広島市安佐北区可部町桐原1058-2
四国	石川 啓一	地方会執行委員長	791-8036	愛媛県松山市高岡町508-8
九州	西口 政男	地方会執行委員長	851-0134	長崎県長崎市田中町346
支部名	氏名	役職名	郵便番号	住所(自宅)
道南	工藤 英範	支部長	041-0811	北海道函館市富岡町3-22-6シャトーム美原南606号
道央北	大野 法行	支部長	006-0807	北海道札幌市手稲区新発寒7条1-4-10
道央南	渡邊 紳一	支部長	047-0038	北海道小樽市石山町14番13号
道北	東原 克嘉	支部長	093-0084	北海道網走市向陽ヶ丘5-14-12
道東	荒木 庸介	支部長	089-1322	北海道河西郡中札内村東2条北4-2
青森	川浪 重治	支部長	037-0016	青森県五所川原市一ツ谷523-17
岩手・秋田	菊池 武彦	支部長	021-0902	岩手県一関市萩荘字本町41-4-1
宮城	菅原 喜弘	支部長	984-0057	宮城県仙台市若林区三百人町37-2
山形	寒河江 健一	支部長	992-0025	山形県米沢市通町8-2-12-1
福島	本多 富士夫	支部長	960-0211	福島県福島市飯坂町湯野字銚子口6-20
茨城	猿橋 寛弥	支部長	310-0832	茨城県水戸市吉田3054-2
栃木	江連 正明	支部長	324-0053	栃木県大田原市元町1-2-22
群馬	下山 裕	支部長	379-2236	群馬県伊勢崎市八寸町4947-3
埼玉	三浦 政則	支部長	354-0002	埼玉県富士見市上南畑1097-5
千葉	井上 聡	支部長	260-0822	千葉県千葉市中央区蘇我町1-5-17 グリーンコーポ蘇我505
東京	杉浦 幹雄	支部長	179-0081	東京都練馬区北町3-17-11-401
神奈川	梅田 弘之	支部長	259-1145	神奈川県伊勢原市板戸311
山梨	石川 数馬	支部長	401-0001	山梨県大月市賑岡町畑倉2011-5
新潟	藤原文 男	支部長	959-0321	新潟県西蒲原郡弥彦村大字上泉1793-4
長野	等々力 正和	支部長	399-8201	長野県安曇野市豊科南穂高5247-4
静岡	大河原 功	支部長	420-0871	静岡県静岡市葵区昭府2-6-9
富山	高島 勉	支部長	939-1401	富山県礪波市東保310
石川	向井 由美子	支部長	920-0965	石川県金沢市笠舞2-35-10
福井	渡邊 文夫	支部長	916-0107	福井県丹生郡越前町上糸生30-4
岐阜	栗山 英	支部長	501-0225	岐阜県瑞穂市祖父江12-1
愛知	近藤 隆信	支部長	463-0002	愛知県名古屋守山区大字中志段味可良素1760-32
三重	内田 弘巳	支部長	510-1222	三重県三重郡菟野町大強原3653
京都・滋賀	柘植 満	支部長	613-0904	京都府京都市伏見区淀池上町116-28ピースハウス202
大阪	田中 保行	支部長	581-0084	大阪府八尾市植松町5-16-20
兵庫	明野 哲夫	支部長	673-1421	兵庫県加東市山国2016-144
奈良	岡田 光裕	支部長	636-0082	奈良県北葛城郡河合町薬井187
和歌山	速水 茂久	支部長	649-6222	和歌山県岩出市岡田257-7
鳥取	福山 洋	支部長	680-0945	鳥取県鳥取市湖山町南3-163-5
島根	高木 耐正	支部長	695-0011	島根県江津市江津町545-4
広島・岡山	川口 清宣	支部長	731-0214	広島県広島市安佐北区可部町桐原1058-2
山口	杉村 典也	支部長	745-0801	山口県周南市久米3106-8
徳島	藤川 好男	支部長	771-0212	徳島県板野郡松茂町中喜来字かうや19-1
香川	平田 弘一	支部長	761-2402	香川県丸亀市綾歌町岡田下581-5
愛媛	石川 啓一	支部長	791-8036	愛媛県松山市高岡町508-8
福岡	大賀 崇正	支部長	813-0011	福岡県福岡市東区香椎2-18-33-414
長崎・佐賀	石本 必勝	支部長	851-0121	長崎県長崎市宿町498
熊本	津川 公雄	支部長	869-0511	熊本県宇城市松橋町曲野2483-14
大分	白石 豊	支部長	874-0812	大分県別府市朝見3-6-16 フォレストハウス系永B201号
宮崎	多田 浩幸	支部長	880-0951	宮崎県宮崎市大塚町正市5557-5
鹿児島	竹ノ内 幸弘	支部長	891-0141	鹿児島県鹿児島市谷山中央5-29-12
沖縄	田場 上	支部長	901-2203	沖縄県宜野湾市野嵩2-10-7-2

平成 30 年度 協会主要会議及び地方学会等の計画表

年 月	理事会	監査会	広報・理療発行	学会・記念式典等
30年4月		年度末監査 29日(日)		
5月			理療185号発行	第59回 定時代議員総会 25日(金) 協会創立70周年記念式典・祝賀会 26日(土) 第67回 日本理学療法学会 川越市26日(土)・27日(日)
6月	第1回理事会 17日(日)			
7月			広報232号発行	運動療法機能訓練技能講習会 開講式 関東甲信越地方会 14日(土) 近畿地方会 15日(日)
8月			理療186号発行	
9月				
10月				第41回 理学療法指導者講習会 広島大学病院 28日(日)
11月	第2回理事会 18日(日)		理療187号発行	第56回 中部理学療法学会 名古屋市 25日(日)
12月			広報233号発行	
31年1月				運動療法機能訓練技能講習会 修講式 関東甲信越地方会 13日(日) 近畿地方会 27日(日)
2月			理療188号発行	第36回 近畿理学療法学会 和歌山市 3日(日) 第26回 認定試験 10日(日)
3月	第3回理事会 3日(日)		広報234号発行	
4月		年度末監査 29日(月・祝)		

※ 平成 30 年度 運動療法機能訓練技能講習会は、神奈川県・近畿会で開催

※ 葵税理士法人との財務処理を適宜開催する予定

※ あはき等法推進協議会・東洋療法研修試験財団関連の会議は不定期に開催

諸会議及び役員渉外行動報告

月日	用務地	用務内容
4/5	厚労省医政局医事課	協会創立70周年記念式典に係る打ち合わせ(平野)
16	協会事務所	葬税理士法人財務処理(平野・小田木・小川)
18	厚労省医政局医事課	協会創立70周年記念式典に係る打ち合わせ(平野)
18	協会事務所	葬税理士法人財務処理(平野・小田木)
20	協会事務所	協会創立70周年記念式典に係る事務処理(平野・柳澤)
24	協会事務所	葬税理士法人財務処理(平野・小田木・佐藤)
24	協会事務所	記念式典・祝賀会に係るアナウンス原稿の打ち合わせ (平野・司会担当者)
25	全鍼師会館	平成30年度 第1回 あはき等法推進協議会(平野)
25	協会事務所	葬税理士法人財務処理・決算書作成(平野)
26	品川法務局	公益法人に係る履歴事項全部証明書申請(平野)
29	協会事務所	平成29年度 監査会(平野・柳澤・三宅・小田木・大塚・菊田・中川)
5/5	協会事務所	決算書・監査報告書の書面表決のとりまとめ(平野)
8	ツナビル	ニュー大崎管理組合理事会(平野)
11	協会事務所	技能認定登録制度に係る事務処理(平野・柳澤)
12	南部労政会館 会議室	大崎駅西口再開発に係る第3回説明会(平野)
19	協会事務所	協会創立記念式典・祝賀会関連業務(平野)
19	東京医療福祉専門学校	あはき7団体生涯教育部会(柳澤)
21	協会事務所	葬税理士法人財務処理(平野・小田木・佐藤)
21	協会事務所	記念式典・祝賀会に係る進行表最終チェック作業 (平野・司会担当者)
24	協会事務所	日本理学療法学会・記念式典等準備(平野・柳澤・倉石・小田木)
25	ウエスタ川越	地方会代表者会議・第59回定時代議員総会
26	ウエスタ川越	協会創立70周年・法人認可55周年記念式典
26	川越プリンスホテル	協会創立70周年・法人認可55周年記念祝賀会
26・27	ウエスタ川越	第67回 日本理学療法学会
29	品川税務署 品川都税事務所	納税証明書申請(平野)
6/2	協会事務所	定款・定款細則の変更に係る事務処理(平野・杉浦)
4	協会事務所	葬税理士法人財務処理(平野・小田木)
5	東洋療法研修試験財団	平成30年度 東洋療法研修試験財団 定期評議員会(平野)
5	桜井司法書士事務所	役員改選に係る役員登記申請(平野)
8	協会事務所	技能認定登録制度に係る事務処理(平野・柳澤)
12	ツナビル	ニュー大崎管理組合理事会(平野)
14	全鍼師会館	平成30年度 第2回あはき等法推進協議会(平野)
16	全鍼師会館	あはき7団体普及啓発部会(平野)
16	協会事務所	第1回 理事会準備・広報編集協議(平野・小川・青柳・小路口)
17	協会事務所	平成30年度 第1回理事会
21	協会事務所	葬税理士法人財務処理(平野)
24	杉山和一記念館	杉山検校遺徳顕彰会 定期評議員会(平野)
30・1	東京医療福祉専門学校	第3回 認定訪問マッサージ更新講習会(柳澤)

本部発信文書一覧

月日	文書番号	宛 先	文 書 名
4 /1	1	役員・代議員 各位	第59回 定時代議員総会開催通知
	2	事務連絡 役員 各位	第59回 定時代議員総会に係る文書の送付
	2	地方会執行委員長 各位	第59回 定時代議員総会関連書類提出願ひ
	3	地方会執行委員長 各位	地方会代表者会議開催通知
	4	病院長・施設長	第67回 日本理学療法学会出張許可願ひ
	5	財務担当者	平成30年度 交付金等に係る文書
	6	支部長 各位	事業報告と事業計画書の提出に係る文書
	7	支部長 各位	東洋療法研修試験財団に係る申請書の送付
	8	支部長 各位	技能認定登録制度に係る登録更新書類の送付
	9	東洋療法研修試験財団理事長	協会創立70周年・法人認可55周年記念式典におけるご臨席とご祝辞拝受についての承諾願ひ
	9	日本医師会 会長	協会創立70周年・法人認可55周年記念式典におけるご臨席とご祝辞拝受についての承諾願ひ
	9	高木賞 表彰委員長	記念式典における高木賞授与の承諾願ひ
	9	後藤賞 表彰委員長	記念式典における後藤賞授与の承諾願ひ
	10	13 広島大学病院 院長	第41回 理学療法指導者講習会講師依頼の願ひ
	23	事務連絡 国際医学情報センター	第67回 日本理学療法学会プログラム抄録集の送付
	26	14 厚生労働事務次官	平成29年度 運動療法機能訓練技能講習会修了報告書の送付
	26	事務連絡 徳市秀晴(元会員)	協会ホームページ作成に係るお礼状の送付
	29	15 理事 各位	平成29年度 事業報告と平成29年度決算書・監査報告の書面表決に係る文書の送付
5 /1	16	広島大学病院リハ科教授	第41回 理学療法指導者講習会の講師受諾のお礼と日程等のご案内文の送付
	1	事務連絡 受賞者 各位	表彰に係る文書の送付
	7	事務連絡 役員改選管理委員会	投票用紙と当選証書等の送付
	7	事務連絡 点字毎日 記者	第59回 定時代議員総会議案書の送付
	7	17 役員・代議員	地方会執行委員長 各位
	7	18 関係団体 各位	第67回 日本理学療法学会へのご祝辞拝受の願ひ
	7	19 マッサージ師・柔整師養成校	養成校就職状況等調査へのご協力のお願ひ
	7	20 理事・監事・役員 各位	書面表決の結果と第3回理事会後の状況報告
	8	事務連絡 日本医師会地域医療課	協会創立70周年・法人認可55周年記念式典に係る資料の送付
	10	21 広島大学病院 リハ科理学療法士	第41回 理学療法指導者講習会講師のご依頼について
	11	事務連絡 該当 支部長 各位	平成29年度 技能認定登録制度に係る単位取得講習会等開催報告書の提出願ひ
	16	22 広島大学病院 院長	第41回 理学療法指導者講習会 講師依頼の願ひ
	29	23 理事会 構成員 各位	平成30年度 第1回理事会の開催通知の送付
6 /1	24	関係団体 各位	第67回 日本理学療法学会への祝電拝受のお礼状の送付
	4	25 東洋療法研修試験財団	生涯研修作業部会 委員の交代についての書類の送付
	5	26 支部長 各位	協会創立70周年・法人認可55周年記念式典の「しおり」の送付
	12	27 支部長 各位	平成29年度「承認単位通知書」の送付
	15	28 厚生労働事務次官	平成30年度 運動療法機能訓練技能講習会の後援名義使用の承諾願ひ

三宅 健一郎 先生 藍綬褒章受章の榮譽に輝く



平成 30 年春の叙勲・褒章におきまして、かねてより厚生労働省医政局を通じて申請中でありました本協会理事（前副会長）の三宅健一郎先生には、栄えある藍綬褒章受章の榮譽に浴され、5 月 15 日、皇居の豊明殿において、親しく天皇陛下に拝謁を賜りました。

誠におめでとうございます。

ご承知のとおり藍綬褒章は、教育・衛生・福祉等の分野における優れた活動を通して、公共の利益に顕著に貢献した者に贈られる国の栄典のひとつであり、六種類ある褒章の中でも最も審査基準が厳しいものであります。

先生は、平成 8 年から現在まで通算 22 年にわたり本協会の理事に選任され学術局教育部長、保険局長を歴任し、特に理学療法指導者講習会の企画運営に当たり、会員の知識・技術の向上に寄与した功績は高く評価されております。

平成 26 年には副会長（広報局長兼任）となり、理学療法従事者の資質の向上に多大な貢献をしております。

職場関係の功績では、昭和 48 年から 27 年間にわたって市立川西病院に勤務され、平成 12 年には川西市社会福祉事業団へ派遣となり、知的障害児通園施設・身体障害児通園施設の園長として、家族や利用者へのサービスの向上に尽力されました。

先生の功績を語るに枚挙に遑がありませんが、まずは会員諸兄とともに心から祝福し、今後ますますのご健勝とご活躍を祈念申し上げ、結びに「褒章の記文」を掲載して榮譽報告といたします。

「日本国天皇は三宅健一郎に多年保健衛生関係団体の要職にあつて斯界の向上に寄与したことについて藍綬褒章を授与する」

平成 30 年 7 月吉日

公益社団法人 全国病院理学療法協会 表彰選考委員会

協会創立 70 周年・法人認可 55 周年記念式典

一 式 次 第 一

開 式 の 辞	副 会 長	三 宅 健一郎
式 辞	協 会 長	平 野 五十男
協会 70 年のあゆみ	式典委員長	柳 澤 貞 男
厚生労働大臣祝辞	厚生労働大臣	加 藤 勝 信 様
来 賓 祝 辞		
厚生労働大臣表彰式	厚 生 労 働 省	
(1) 受賞者代表		佐 藤 政 春
(2) お礼の言葉		小路口 憲
協 会 表 彰 式		
(1) 高 木 賞	高木賞表彰委員長	江 藤 文 夫 様
	受賞者代表	石 川 啓 一
(2) 後 藤 賞	後藤賞表彰委員長	後 藤 修 司 様
	受賞者代表	寒河江 健 一
(3) 功 績 賞	協 会 長	平 野 五十男
	受賞者代表	引 橋 三佐夫
(4) 功 労 賞	受賞者代表	麻 生 昌 寿
(5) お礼の言葉	協会表彰受賞者代表	等々力 正 和
祝 電 披 露		
閉 式 の 辞	常 任 理 事	小 川 嗣 人

協会創立 70 周年・法人認可 55 周年記念祝賀会

開会の辞	記念式典委員長	柳 澤 貞 男
挨拶	協 会 長	平 野 五十男
来賓祝辞		
乾 杯	理療編集顧問	玄 番 央 恵
閉会の辞	常 任 理 事	佐 藤 功

式 辞

公益社団法人 全国病院理学療法協会

会 長 平 野 五十男

本日ここに、公益社団法人 全国病院理学療法協会が、協会創立 70 周年・法人認可 55 周年の佳節を迎えるにあたり、公私ともにご多用のところ厚生労働省、並びに関係行政庁、関係医学会、及び関係諸団体より多数のご臨席を賜り、衷心より厚く御礼申し上げます。

またこの慶事に臨み、厚生労働大臣より「多年にわたり理学療法業務に従事し国民の保健医療の向上発展に寄与した功績が顕著である」として 14 名の会員に表彰状が授与されることになりました。

本日の式典に、錦上花を添えていただくこの表彰は、受賞者はもとより、協会にとりましてもこの上ない名誉であり、協会を代表いたしまして心から御礼を申し上げます。

近年、わが国は医療技術の進歩と生活環境の改善により、世界に類を見ない速さで高齢社会に進展し、それに伴い保健・医療・介護、並びに福祉の領域に広く携わる私達、理学療法従事者には、より高度な知識と技術の習得が求められております。

本日の記念式典を契機に更なる研鑽に努め、優れた知識と技術とともに、人の心を豊かにする感性に磨きをかけ、逆境にあっても真に社会に求められる医療人を目指して、なお一層の努力を続ける所存であります。

ここに改めて、ご臨席を賜りましたご来賓各位に対しまして、従来にも増してのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに臨み、ご来賓並びにご参会の皆様方の益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げ、式辞といたします。

平成 30 年 5 月吉日

祝 辞

厚生労働大臣

加 藤 勝 信 様

公益社団法人全国病院理学療法協会創立 70 周年並びに法人認可 55 周年記念式典の開催に当たり、一言お祝いの言葉を申し上げます。

貴会におかれては、平野会長を始め、会員の皆様方のたゆまぬ御努力により年々発展を遂げられ、昭和 23 年の創立以来、今日まで 70 年の永きにわたり、国民の健康の維持・向上に大きく貢献されてきたことに、心から敬意を表します。

また、本日、理学療法業務の分野でのご活躍により表彰を受けられる 14 名の皆様は、長年にわたって業務に精進され、日本の保健衛生の向上に貢献してこられました。その熱意と努力に対し、心から敬意を表するとともに、今後ともこれまでの長い経験を活かして精励され、後進の育成や指導にもご尽力されるようお願いいたします。

我が国では、世界に類を見ない速度で高齢化が進展しており、疾病や身体的な不調などが複合する患者が増加していくと見込まれます。

これからの保健医療は、こうした変化に柔軟に対応していくことができるものでなければなりません。団塊の世代が 75 歳を迎える 2025 年を目途に、介護が必要となった場合にも住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を進めています。こうした中で、理学療法業務の果たす役割や、理学療法に対する国民の期待は、今後ますます大きくなっていくものと考えます。

創立 70 周年を迎え、皆様方が、より一層の自己研鑽を進め、理学療法業務の資質の向上を図ることにより、国民の期待に応えていただけると強く確信しています。

最後に、本式典のご成功と、本日お集まりの皆様方のご健勝とご活躍を心からお祈りし、私のお祝いの言葉といたします。

平成 30 年 5 月 26 日

協会 70 周年のあゆみ

協会創立 70 周年記念式典

実行委員長 柳 澤 貞 男

公益社団法人 全国病院理学療法協会は、医師の指示のもとで理学療法業務に従事するマッサージ師・はり師・きゅう師・柔道整復師等を中心に、昭和 23 年に日本医療マッサージ師協会として組織され、以来、国民の保健・医療・介護及び福祉の維持発展に寄与することを目的として、毎年、日本理学療法学会を主催し、各地方学会、各種講習会等を積極的に開催して知識と技術の研鑽に努めてきました。その功績により昭和 38 年、社団法人として認可され、昭和 41 年 6 月に社団法人 全国病院理学療法協会と改名。平成 24 年に公益社団法人として認定され公益社団法人 全国病院理学療法協会として現在に至っています。

しかし、70 年という長い道のりは決して平坦ではなく、大火をくぐり抜けて来た傷跡は今も残っています。転機の 1 つめは、昭和 40 年 6 月に公布された「理学療法士および作業療法士法」であります。この法律の経過措置として、一定の経験を有する者が厚生大臣指定講習会の受講を条件に、国家試験の受験資格が付与されることになり、本協会員も果敢に挑戦し多数の理学療法士が誕生しましたが、その多くが新たに組織された「日本理学療法士協会」へ流出し、組織の立て直しが急務になった時期でありました。

2 つめは昭和 56 年、診療報酬にかかわる運動療法施設基準が新設され、それまで個別に算定できたマッサージ・徒手矯正等の手技療法が運動療法料に包含された結果、診療報酬算定におけるマッサージ師・柔道整復師等の理学療法従事者の位置付けや資格制度が不安定な状況に陥った時期でありました。

しかし、どのような状況変化であっても、会員の資質向上と権益の擁護を図るため一貫して学術活動に取り組み、昭和 53 年から毎年、理学療法指導者講習会を開催、昭和 51 年に 240 時間講習会、昭和 58 年から昭和 60 年にかけて厚生省を初め関係医学会の後援を受けて前期（基礎編）・後期（臨床編）の理学療法講習会 200 時間を全国一斉に開催、平成 4 年からは厚生省の指導監督、関係医学会後援の下に、運動療法機能訓練技能講習会を全国的に開催し、現在も継続実施しております。なお、平成 15 年からは、この技能講習会を受講し認定試験に合格した者を対象に「技能認定登録制度」を創設し、生涯教育を含めた資質の向上に努めております。

このような本協会の長期的、継続的努力が、関係官庁並びに関係医学会等の高い評価を頂き、理学療法従事者の診療報酬・介護報酬制度上における位置づけに大きな成果を収め

ることができました。

まず平成2年には「専従者加算」があり、平成4年には「理学療法Ⅲ」の新設により「専従する理学療法従事者」として位置付けられ、平成8年には「運動療法機能訓練技能講習会」を受講した者が「施設基準Ⅱ」の中に位置付けられました。そして、平成18年の診療報酬改定においては、一定の条件はついておりますが、運動器リハビリテーション料(Ⅰ)と(Ⅱ)、及び脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅱ)の算定要員として認められたのであります。

平成20年の診療報酬改定では、脳血管疾患等リハビリテーション料の施設基準が(Ⅰ)・(Ⅱ)・(Ⅲ)に分類され、(Ⅱ)の施設において(Ⅲ)の算定ができるようになりました。

平成22年の診療報酬改定では、運動器リハビリテーション料の施設基準が(Ⅰ)・(Ⅱ)・(Ⅲ)に分類され、外来のみ(Ⅰ)の施設において(Ⅲ)の算定ができるようになりました。しかし、(Ⅰ)の施設では、9割が入院患者であることから、事実上、多くの理学療法従事者が(Ⅰ)の施設から締め出される形となってしまいましたが、平成24年の診療報酬改定で、運動器リハビリテーション料(Ⅰ)の施設において、入院・外来ともに(Ⅲ)の算定が可能になり、また介護報酬改定においても、技能認定登録者が通所リハビリテーションで、1～2時間に限り所定単位数の算定ができるようになりました。

しかし、リハビリテーションに対する社会的ニーズの高まりから、理学療法士養成校の増設や介護保険の導入により、保健、医療、介護及び福祉の著しい変化により本協会員の位置付けは、きわめて不安定であり診療報酬や介護報酬の改定が行われるたびに、一喜一憂するのが現状であります。

今後、私達が安心して理学療法に従事できるようにするためには、私達自身の研鑽努力は無論であります。関係官庁・関係医学会及び関係諸団体の皆様方の、従来にも増してのご指導・ご鞭撻のほど、心よりお願い申し上げます。

公益社団法人の学術団体として生涯学習制度を実践し、医療人の一員として倫理の高揚に努めながら、この記念すべき70周年を本協会の更なる発展の基盤として有意義なものにしていきたいと考えております。

終わりに臨み、ご来賓・ご参会の皆様方のますますのご健勝とご活躍を祈念申し上げて「協会70年のあゆみ」といたします。

平成30年5月吉日



厚生労働大臣表彰受賞者

梅 田 弘 之(神奈川県)	大内田 義 己(岩手県)	大 村 和 司(愛知県)
片 桐 恒 雄(長野県)	加 藤 尚 浩(愛知県)	小 堺 文 明(神奈川県)
近 藤 隆 信(愛知県)	佐 藤 政 春(茨城県)	小路口 憲(北海道)
高 城 克 己(千葉県)	高 木 耐 正(島根県)	本 多 富 士 夫(福島県)
丸 山 茂 男(新潟県)	峰 岸 経次郎(埼玉県)	以上 14 名(五十音順)

お礼の言葉

厚生労働大臣表彰 受賞者代表
小路口 憲

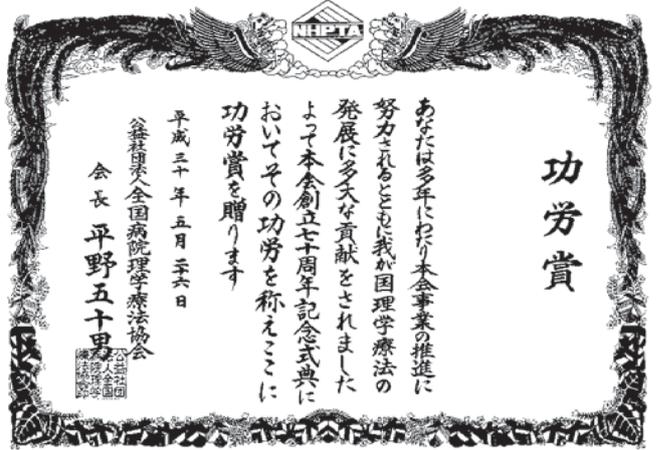
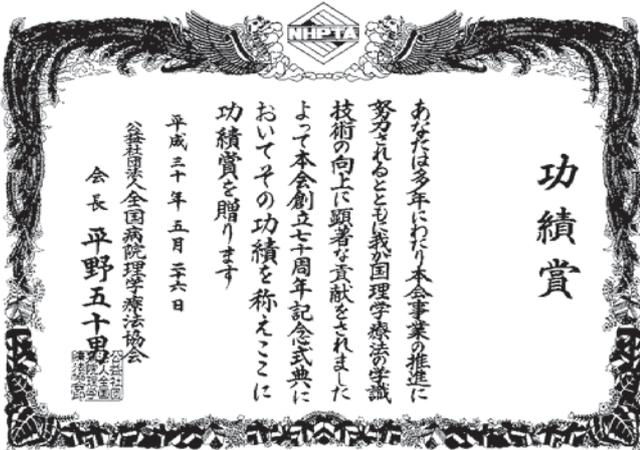
緑の風薫るこの佳き日に、ウエスタ川越で举行されました「協会創立70周年・法人認可55周年記念式典」におきまして「理学療法業務功労者」として、私たち14名が栄誉ある厚生労働大臣表彰を受賞することができました。

誠に身に余る光栄であり、心より厚く御礼申し上げます。

私たち受賞者一同は、今日の感激をしっかりと胸に刻み、今後、益々多様化する理学療法業務の進展に努め、常に国民のニーズに応えうる真の理学療法従事者を目指し、日々精進することをここに誓いし、お礼の言葉といたします。

平成30年5月26日

協会表彰状



高木賞受賞者

大野法行(北海道)	木村重人(青森県)	菊池武彦(岩手県)
近田義秋(福島県)	猿橋寛弥(茨城県)	小口守(栃木県)
三浦政則(埼玉県)	山下勇司(埼玉県)	井上聡(千葉県)
石田一利(東京都)	高野和男(東京都)	酒井康友(神奈川県)
惣田美由紀(神奈川県)	廣瀬正吉(新潟県)	等々力正和(長野県)
大河原功(静岡県)	石川武彦(愛知県)	中村康夫(愛知県)
金森勝子(大阪府)	松田覚(大阪府)	谷本清(香川県)
石川啓一(愛媛県)		以上 22 名(五十音順)

後藤賞受賞者

寺岡英浩(北海道)	大野敏彦(北海道)	東原克嘉(北海道)
川浪重治(青森県)	泉谷美雪(青森県)	高橋欣智(岩手県)
中村博行(岩手県)	寒河江健一(山形県)	星辰雄(福島県)
鈴木善一(福島県)	神林幸生(茨城県)	雫広二(栃木県)
小野崎一美(栃木県)	猪又良法(埼玉県)	小松賢次(埼玉県)
尾形貞男(千葉県)	川崎一幸(東京都)	船越啓太郎(東京都)
砂野宏治(東京都)	山口和子(神奈川県)	松山仁人(神奈川県)
福原智(新潟県)	佐藤正則(新潟県)	杉本学(長野県)
松本宏(長野県)	小田木宏江(静岡県)	向井由美子(石川県)
近藤茂人(愛知県)	黒田昌弘(三重県)	飛谷義雄(大阪府)
宮脇美文(大阪府)	平田弘一(香川県)	目賀進(香川県)
渡部哲雄(愛媛県)	武智健二(愛媛県)	首藤修(大分県)
		以上 36 名(五十音順)

功 績 賞 受 賞 者

北 海 道	石田 寿雄 石川 司	久保田芳正	風間 守	山根日出勝
青 森 県	荒川 彰雄	佐藤 明良		
岩 手 県	木戸場利雄	大島 健一	千葉 和男	佐々木 剛
福 島 県	早坂 祥子 長澤絵理子	八木 勝彦	蓬田 久夫	佐藤 昌幸
栃 木 県	江連 正明	引橋三佐夫	高橋 祐三	
埼 玉 県	小林 克美 鳥海 孝一	菅澤 威仁 土肥 成司	関谷 進司 横川 安則	高橋 真一
千 葉 県	若井八重子 鈴木 芽 景山 浩道	中川 佳則 齐藤 哲也 大塚 滋子	田中順一郎 小山 則子 石井 松美	高山 孝夫 河原重矢子 石井 英明
東 京 都	熊谷まり子 大島 力	麻生美奈子 藤井 深造	佐藤 秀明	棚町 暁彦
神奈川県	村川 正行 大川 孝子	成井 孝造	中山 明義	宇佐美正人
新 潟 県	高橋 茂	椀澤 知弘		
長 野 県	小山 正	翠川 一利	上條 里美	
静 岡 県	平山 儀久			
愛 知 県	水野 登 宮脇 信行	磯部 正明	柴田 幸三	戸田 満
三 重 県	朝倉 枢	西方 繁春	桶屋有美子	辰田由美子
大 阪 府	伊黒 浩二			
和 歌 山 県	速水 茂久	鍵井 和浩		
広 島 県	河内 志文	釘崎 重男	坂原 博昭	
香 川 県	瀬戸 邦重	岩崎八重美	岩崎 敏治	
愛 媛 県	藤堂 芳文			
大 分 県	白石 豊	中西 利夫		

以上 76 名

功 勞 賞 受 賞 者

北 海 道	平賀 欣也 横山 吉典 渡邊 紳一	山本 一志 井上 豊	山本 泰則 成田 英高	澤田 巖 中西 敬明
岩 手 県	吉田 明	伊藤 武		
茨 城 県	渡邊優太郎			
栃 木 県	山本 清 山田 敬一	北野 博 尾引 建一	川田 光博 蒲 竜也	山之上 将 高橋 理恵

埼玉県	荒井 宏之	市川 朋行	大野美香子	平良 憲汰
千葉県	加瀬 達也	後藤 仁美	菅田 道夫	直井 修一
東京都	愛甲美沙緒	宮下 貴良	土屋 光恵	
神奈川県	山本 雅司	萩原 正博	福井 末男	阿部 武美
	寺本枝美子			
新潟県	渋谷 優子	渡辺 栄二	清水 明	
長野県	上原 勝則	明石 裕磨		
静岡県	杉山よし子	太田 雅敏	渡邊 美弓	
愛知県	伊藤 慎悟	杉原 弘康	花田 隆	鈴木 賢二
	坂崎 光利	大岩 茂行	金沢 光秋	宮田 克彦
	関 謙志郎	森田 和彦	倉田 洋一	
三重県	木村 和彦	高橋 里美	池田 直樹	下坂 孝子
	佐川 智子			
大阪府	大森 淳次	田中 保行	中谷 聡	
和歌山県	野間 義樹			
香川県	山本 弘子	河井 誉祉	浜田 大	小松 智子
	西山 智子	藤川 隆	堀 聡志子	
鳥取県	福山 洋			
大分県	又賀 勝信	家村 久治	麻生 昌寿	以上 75 名

お礼の言葉

協会表彰 受賞者代表
等々力 正和

このたび、協会創立 70 周年の佳節に際しまして、このような身に余る賞をいただきましたことは、誠に大きな喜びであり、受賞者を代表いたしまして厚く御礼申し上げます。

今後、私達は、この賞に恥じないよう、またこの榮譽に奢ることがないよう自らの日々を厳しく律し、保健・医療、及び介護の領域における理学療法従事者として、知識や技術とともに豊かな感性の研鑽に励みたいと思います。

本日は誠にありがとうございました。

平成 30 年 5 月 26 日

第 68 回 日本理学療法学会のご案内

- ◇学会テーマ「長寿社会における医療・介護」
～積極的な社会参加へ 私たちの役割～
- ◇会 期 2019年5月24日(金)・25日(土)・26日(日)
- ◇会 場 諫早観光ホテル道具屋
〒854-0004 長崎県諫早市金谷町 8?7
電話 0957-22-3360
URL<http://www.h-douguya.com>
- ◇内 容 1. 特別講演 1席
2. 分科会 2題(市民公開講座含む)
- ◇参加費 会 員 8,000円(事前登録)
10,000円(当日)
会員外 15,000円
学 生 4,000円
一 般 無 料(市民公開講座などへの参加)
- ◇参加者 300名
- ◇主 催 公益社団法人 全国病院理学療法協会
- ◇担 当 九州地方会 長崎・佐賀県支部

《演題募集要項》

1. 演 題 : 自由演題(未発表のもの)
2. 発表時間 : 7分以内
3. 抄 録 : 抄録原稿はA4判にて横書き800字以内でお願いします。
Microsoft Wordを使用し、CD-Rに保存し事務局に提出して下さい。
4. 発表原稿 : PowerPointで作成し、発表用原稿と共にCD-Rに書き込み、締切り期限までに事務局へ提出してください。
なお、コピーを保存しておいてください。
5. 申込方法 : 「演題申込書」はFAXまたは郵送にて、「抄録原稿」・「発表用ファイル」はメール添付または郵送にて下記へ申し込みください。
6. 締 切 日 : 演題申込 平成30年 9月30日
抄録原稿 平成30年11月30日
発表用ファイル 2019年 2月20日
7. 送 り 先 : 学会事務局 医療法人 祥仁会 西諫早病院
事務局長 西口 政男
住 所 〒854-0063 長崎県諫早市貝津町 3015
電 話 0957-25-1150 FAX 0957-25-3338
E-mail : nishiguchi@shoujinkai.com

第 68回 日本理学療法学会
演題申込書

平成 年 月 日

演題名			
支部名	支部	共同発表者氏名	
フリガナ 発表者氏名			
フリガナ 勤務先施設名	(所属)		
勤務先住所	〒		
	TEL	FAX	
自宅	〒		
	TEL	FAX	
	メールアドレス		
連絡先	勤務先	自宅	
パワーポイント	有 (有の場合、動画の有無 : 有 無) 無		
連絡事項			
事務局記入欄			
受付番号			
受付日	平成 年 月 日		
演題番号			
発表日時			

平成 30 年度 地方学会のご案内

第 56 回 中部理学療法学会 開催案内

中部地方会並びに愛知県支部創立 70 周年記念

学会長 近藤 隆信 準備委員長 日比野 智

テーマ 『百年時代を生きるには』—健康寿命向上を目指して—
日時 平成 30 年 11 月 25 日 (日) 午前 9 時 30 分～午後 4 時 00 分
会場 名古屋市中企業振興会館 (吹上ホール) 4 階 第 3 会議室
名古屋千種区吹上二丁目 6 番 3 号 電話 (052) 735 - 2111
内容 会員発表 10～15 題予定
特別講演 テーマ 「運動器疾患の視点から見るメタボリックシンドローム」
講師 中部大学生命健康科学部理学療法学科教授 戸田 香 先生
記念式典 中部地方会並びに愛知県支部創立 70 周年記念式典
取得単位 出席者 5 単位、発表者 5 単位
参加費 会員 3,000 円 会員外 5,000 円 学生無料
主催 公益社団法人 全国病院理学療法協会 中部地方会
担当 愛知県支部
事務局 八田整形外科クリニック リハビリテーション科 日比野 智
〒 454-0873 名古屋市中川区上高畑町二丁目 65
電話 (052) 364-8844 FAX (052) 364-8864
E-mail aoringo@orihime.ne.jp 携帯 090 - 6579 - 0993
*交通アクセス 地下鉄 桜通線「吹上」下車 5 番出口より徒歩 5 分

第 36 回 近畿理学療法学会 開催案内

学会長 速水茂久 副学会長 明野哲夫 鍵井和浩 準備委員長 野間芳樹
テーマ 「育てよう理学療法」—わたしたちの心—
日時 平成 31 年 2 月 3 日 (日) 開場 9:00 開会 9:30 閉会 15:30
会場 和歌山市勤労者総合センター 6 F 文化ホール
〒 640-8227 和歌山市西汀丁 3 4 番地 TEL: 073 (433) 1800
参加費 会員 3,000 円 一般 6,000 円 学生 1,000 円
主催 公益社団法人 全国病院理学療法協会 近畿地方会
担当 和歌山県支部
内容 会員発表 15 題
特別講演 1. 介護保険制度の動向・最近の動き (仮)
講師 津市立三重短期大学生活科学科准教授 武田誠一 先生
特別講演 2. 現在交渉中
事務局 〒 649 - 6213 和歌山県岩出市西国分 501
医療法人博文会 紀の川クリニック リハビリテーション科
速水 茂久 TEL: 0736 (62) 0717 FAX 0736 (62) 7178
e-mail zdng16322@gaia.eonet.ne.jp

平成 30 年度 認定訪問マッサージ師講習会開催のご案内

主催： マッサージ師等将来研究会 生涯・教育部会

日時： I 基礎

平成 30 年 11 月 24 日（土）12：00～17：35

11 月 25 日（日）9：00～15：15

II 実技

平成 31 年 2 月 2 日（土）10：30～18：00

2 月 3 日（日）8：50～16：10

会場： 東京医療福祉専門学校

住所：東京都中央区八丁堀 1 - 11 - 11

連絡先：03 - 3551 - 751（当日のみ）

講習内容： 基礎講義 14 単位 実技講習 16 単位

受講料： 加盟団体会員 4 万円 非会員 8 万円

定員： 100 名（100 名以上の場合は抽選とする）

募集期間： 平成 30 年 7 月 17 日（9：00）～平成 30 年 8 月 17 日（17：00）

認定証の交付： 全単位を取得し、課題（3 症例）を提出し、審査に合格した者に「認定証」を交付する。なお、関係団体の会員には携帯用認定証を作製する。

受講申し込み： 受講申込書に必要事項を記入し、下記講習会事務局に直接送付してください。

受講が決定された方には、事務局より「受講票」が郵送されますので、必要事項を記入のうえ、受講料を納入した銀行振り込みの控えのコピーを受講票裏面に全面貼付し、下記の事務局までお送りください。

なお、抽選にもれた方にはその旨を通知させていただきます。

*抽選結果は 9 月末までにはお知らせいたしますのでよろしくお願
致します。

〒360 - 0012

埼玉県熊谷市上之 1777 - 4

（公社）埼玉県鍼灸マッサージ師会

「認定訪問マッサージ師事務局」宛

T E L：070-6454-9541（PHS）

F A X：048-525-3231

メールアドレス：ninteihoumon@saitama-sams.or.jp

問い合わせ： 柳澤貞男 080 - 3387 - 5128

**マッサージ等将来研究会
平成 30 年度 認定訪問マッサージ師講習会
受講申込書**

※太枠内を必ずご本人が楷書で書いてください。(視覚障害のある方は代筆可能です)

所属団体の有無 1. 有 2. 無	所属団体名 公益社団法人 全国病院理学療法協会		
氏 名	フリガナ		生 年 月 日
			昭 平 年 月 日
現 住 所	〒		
	電話番号	—	—
	携帯番号	—	—
メールアドレス			
勤務先又は施術所	フリガナ		
	名 称		
	〒		
	電話番号	—	—
	携帯番号	—	—
受講の可否などの 送付先、連絡先 該当する番号に○印 3 の場合のみ記入	1. 現住所 2. 勤務先・施術所 3. その他(以下に記入)		
	〒		
	電話番号	—	—

どなたかのご紹介ですか	1. はい (以下に記入してください) 2. いいえ
紹介者氏名	
紹介者所属団体	
受講時期	第 回 受講者 または 平成 年 4 月 認定者

* 個人情報 は 認定制度運用以外の目的に使用いたしません。

* 定員 100 名 を 超えた 申込みが あった 場合は、厳正な抽選を行います。

発行人 公益社団法人 全国病院理学療法協会

〒141-0032 東京都品川区大崎3-6-21
ニュー大崎 318号

TEL 03(3494)1948

FAX 03(3494)1950

ホームページアドレス <http://nhpta.net>

発行責任者 平野 五十男

編集責任者 小路口 憲
ken218@lapis.plala.or.jp